

地域医療を未来へつなぐために

Vol.2

～但馬の医療を守り続けるため、いま知って欲しいこと～

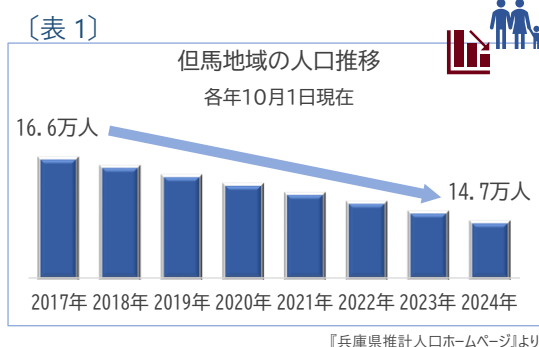
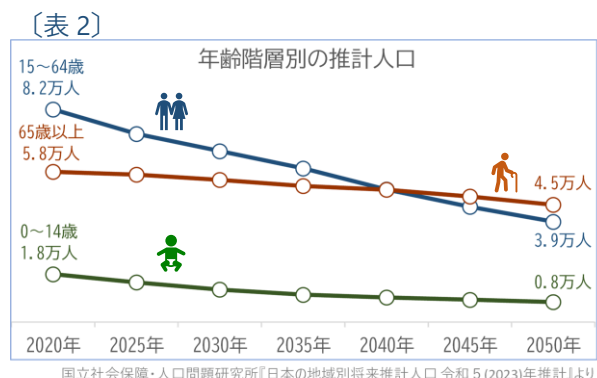
「地域の安心・安全を医療の面から支える」これが公立豊岡病院組合の役割です。
人口減少と少子高齢化、そして賃金や物価の急激な高騰など、社会全体が目まぐるしく変動していく中、
当病院組合の経営方針や取り組みについて、前号に続いてお伝えします。

▶ 変わりゆく環境

～人口減少と少子高齢化～

但馬地域の人口は、2024 年までの 7 年間で 1.9 万人減少、
割合として 11.4% 減少しています。〔表 1〕

今後も人口減少は進み、少子高齢化も進みます。〔表 2〕



人口変動は、医療環境に大きく影響しています。

一つは、『人口減少に伴う患者の減少』

人口減少は、患者数の減少に直結します。対象患者が少数で限られた、いわゆる不採算医療を担う公立病院では、その採算性がさらに低下します。

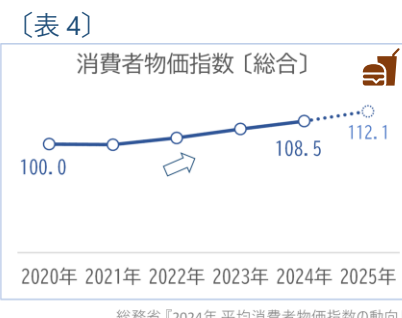
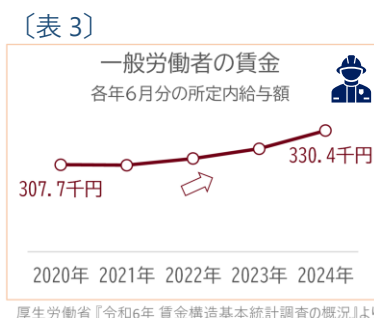
もう一つは、『医療スタッフの確保がさらに困難に』

医療スタッフが確保できなければ、医療体制の縮小を余儀なくされます。地域医療に携わる魅力を発信し、優秀な人材確保に向けた努力が求められます。

～人的費用と物価高騰～

人的費用（業務委託等に係る費用を含む）と物価は高騰を続けています。

〔表 3・4〕



当病院組合は、24 時間 365 日体制で医療を提供しています。

その医療を支えているのは、専門性の高い知識と技術を備えた人材、そして高度な機器・設備です。

地域の『安心・安全』を守るのに必要な人材確保と機器・設備の整備により、医療提供体制を維持していることから、
昨今の急激な人的費用や物価の高騰による費用増は、経営収支を大きく圧迫しています。

▶ 昨今の経営状況

当病院組合は、救急医療、周産期医療、がん疾患や脳・循環器などの高度医療から、高齢者への総合診療までの医療体制を整え、より質の高い、最適な医療の提供に努めてきました。

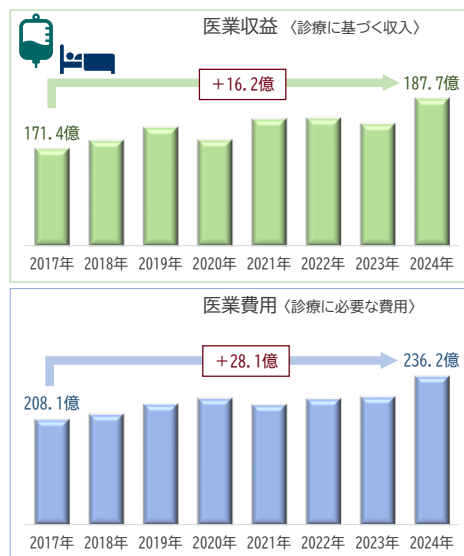
併せて、近年はベッドや機器の効率的稼働、効果的な人員配置、材料の廉価購入などにこれまで以上に注力し、職員一丸となって経営改善に努めてきました。

しかしながら、過去に類を見ない急激な費用の高騰が続いており、その増加額は、収入の増加額を大きく上回っています。〔表 5〕

2024 年度、全国で 8 割以上の公立病院が赤字に陥っています。

公立病院は、不採算な部門へ自治体から一定の支援を受けていますが、現状の支援では、昨今の急激な人的費用や物価の高騰による費用増が賄えず、赤字経営への転換や赤字額の拡大に繋がっています。

〔表 5〕



▶ 守り続ける『地域の安心・安全』



このように大変厳しい経営状況にありますが、人口減少や高齢化が進む地域にあっても、重症化リスクの高い患者の治療環境の整備、また回復期医療の充実が求められます。

- ◇ 重篤な患者の集中治療体制を充実させる豊岡病院の新棟整備
- ◇ 朝来医療センターの回復期医療の充実

などの取り組みを進めるとともに、地域の医療機関との連携と機能分担のもとで、今後も地域に必要な医療体制の維持に努めてまいります。

▶ 経営の安定化に向けて



『地域の安心・安全』を確保していくためには、経営の安定化が不可欠です。

このため、

1. より踏み込んだ取り組みと改善事例の情報収集に努め、経営改善をこれまで以上に進めていきます。
※その過程では、診療報酬で賄えない施設維持等に係る費用の一部を、利用者の皆さまに負担いただくざるを得ない場合も想定されます。
2. 適切な診療報酬制度の構築に向けて、所属する団体を通じて国への要望を続けていきます。
3. 経営安定化までの一時的な財政支援について、構成市、県などの関係機関と協議してまいります。